

平成 27 年度
NO. 3
5 月 29 日発行
6 月号

仲町だより



なか よく
ま なぼう
ち からいっばい
練馬区立仲町小学校

約束

校長 矢島 直行

夏を思わせる日差しのもと、子供たちは休み時間に校庭で元気いっぱい遊んでいます。新年度が始まってから2か月がたちます。最初は緊張していた新入生や進級した子供たちも学校生活や新しいクラスに慣れてきたようです。

先日、全校朝会で子供たちに、「初心忘るべからず」の話をしました。広辞苑で意味を調べてみますと、「学び始めた当時の謙虚な気持ちを失ってはならない。」と書かれています。経験を積み重ね慣れることも必要なことですが、気を緩めずに始めたときの真剣な姿勢、謙虚な態度を忘れずにもち続けることは大切なことです。子供たちも4月のときの新たな気持ちや自分がたてた目標に向かって頑張ろうとする姿勢を、いつまでも忘れずにもち続けるようにしたいです。このことは子供たちだけでなく大人、教職員も同じです。始めた時の意気込みと謙虚さを忘れずにもち続けていきたいです。

さて、5月26日（火）から29日（金）に6年生の武石移動教室がありました。出発式で子供たちに、「武石移動教室では、たくさんの楽しい思い出をつくりましょう。しかし、楽しくするためには何をしてもいいというわけではありません。集団で生活をするからには、守らなければならない約束があります。互いを思いやることが大切です。」と話をしました。子供たちは集団生活及び体験活動を通して、大きく成長することができました。移動教室での様子につきましては、ホームページや校内の掲示板の写真から、子供たちが楽しく過ごしたことが伝わるかと思えます。

移動教室に限ったことではありませんが、私たちは集団で生活をしており、その中で守らなければならない「約束」があります。仲町小学校には、「仲町スタンダード」「遊具のやくそく」があります。ここでの約束は、ルールやマナーに置き換えることもできます。例えば、普段から行っていることですが、廊下を歩くときは、走らずに右側を歩くこと。道路を横断するときは、信号機のあるところや横断歩道で左右を確認して渡ること。自転車に乗るときは、2人乗りはせず友達同士道路に広がらずに歩いている人にも注意しながら乗ること。自分が出したゴミは道路などに捨てるのではなく、ゴミ箱や自分の家に持ち帰るなど、相手を気遣い、周りに迷惑をかけないことが私たちの生活を楽しくさせるとともに、安全と命を守ることに繋がります。

学校ではこれから水泳指導が始まります。水泳は素晴らしいスポーツですが、時に油断をすると大きな事故につながります。事故を起こさないために約束があります。体育朝会で水泳での約束について運動委員から紹介がありますが、それぞれの約束の意味をよく考え、実践できるようにしたいです。

これからも子供たちだけでなく大人、教職員も手本となり、約束を守ることの大切さを子供たちに示し、安全で楽しい仲町小学校にしていきたいです。

保護者と地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。